

日九月一



定価一円... 発行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

陣中想出話

(其)

平町出身 歩兵第廿九聯隊 水野重光 第三中隊

▼手榴弾が来ました

こゝは吉敷線を離れて吉海線の新警備地に着いて一週間の新警備地に...

陣地構築、冬警備に恰も新世帯の如く時雨、降雪の日も厭ひなく、入浴もせず

『つばもの』三十五名一体となりて、一生懸命の十月二十四日の夕のこと、汽車は中隊主力なる磐石より吉林に歸りを急ぐ如くやつて来た、乗客はドヤ／＼乗つた

警戒兵は厳しく乗下車の間検も済んで汽車は煙を残して去つた。

兵室では手紙やら小包やら、懐かしい故郷の便りを手にして喜ぶ其時

甲兵『トン／＼』戸を叩く 小隊長『入つて宜しい』

甲兵『只今手榴弾が中隊より到着したので持つて来ました』

小隊長と同じ室に居た軍曹『ヨシ、員数は後から調べるから「ベーチカ」を上げて發火せぬ様下士哨の室に置け』

乙兵（炊事係）『小隊長殿、ポタ餅を各人四ヶ宛給養曹長より送つたと言ふ手紙だ

が現品を捜してゐます』

小隊長『そうか其れは珍らしいな』

甲兵あわたしく入つて来て『小隊長殿、今のは手榴弾でなく中から黒い美味しさうなのが澤山出た』

小隊長、軍曹異口同音に『おや／＼ポタ餅か』

ノット

わさびは葉付きの方から卸すと利きがい、尙半分使つて残りを保存するやうな場合に葉付きの方から卸したものよりも萎びることが遅いものです。

居合せた一同のものドツト笑声... 甲兵取扱注意と書いてあり箱の格好と重さでつつきり手榴弾と判断したのでした

二明日の献立 朝すまし汁：里芋 大根 晝ポークカツレツ：豚肉 キヤベツ サラダ

【晩】焼肴：目ザシ いわし 小松菜ひたし

意外な此の陣中の珍らしい手榴弾は早速四ヶ宛分配され舌鼓を打つたのでした。 夢 鶏の聲は静かに／＼故郷の空に流れ、且がすかに自らなくに



常磐歌壇

忘れむとおもひし人は今日 遂に退學させられしといふかなしきかも かりそめの噂と今はおもはへず君退學ときけばかなし 退學といふ君が噂はさゝる つゝなぐさむすべも吾はあらなくに

Advertisement for '玉屋洋品店' (Tamaya Department Store) featuring an illustration of a man in a suit and tie. Text includes '平町田町通電話六五六番'.

Advertisement for '木村病院' (Kimura Hospital) listing various medical departments like '産婦人科', '内臓外科', and '泌尿科'. Location: '平新川町十九'.

Advertisement for '吉田眼科病院' (Yoshida Ophthalmology Hospital) with contact information: '平新川町、電話六八八番'.

Advertisement for 'かまぼこ製造' (Kamaboko Manufacturing) featuring '昭和三十九年博覧會 金牌受賞' and 'お惣菜用 さつま揚 吉原揚'.

Advertisement for '太平生合外務社員募集' (Taiping Seigai Gaiwaku Shain Boshu) for a life insurance company, including '磐城方部事務所'.

Advertisement for '安齊外科醫院' (Anzai Seikei Hospital) listing '外科', '性病科', 'X光線科'.

Advertisement for '高久病院' (Takakura Hospital) listing '院長 醫學士 高久忠', '副院長 新潟醫學士 赤羽清', etc.

Advertisement for '西村屋藥局' (Nishimura Yakuryaku) featuring a '体温の検査日です' (Body temperature check day) and 'お宅の体温計は?'.

Advertisement for '中村齒科醫院' (Nakamura Shikoku Hospital) located at '平町鍛冶町七'.

月曜是非

武勳輝く凱旋兵

昨七日迄は正月氣分の陶酔未だ醒めず、總ての仕事も本當の軌道に乗つて居ない感があつた、而し今日からは各學校も一齊に開始され、物みな新たに愈よ本筋の活動舞臺に、夫々の配置に着く事となつた。是非子も筆を洗つて、さて今日が初の見參である。

狼狽し、または一時の急を凌ぐに如何に巧であつたとす、將來の目算無くして結果の芳しき筈のなきは勿論禍根を永遠に遺すことになりは事明の理である。

汗として漲り来る新しき意氣と力とを感せずには居られないであらう。今ぞ我忠勇なる軍人は全世界を照す太陽である、斯くて日章旗の翻るところ、山河忽ち輝き、民草たちどころになびく、いざ我等、大地を踏まへ、大手を擧げて、貴き使節を果せる凱旋軍人を迎へ、誇るべき軒昂たるその意氣を以つて、本年を幸多き歳たらしめやうではないか。

平町外九ヶ村

俵米品評人賞

本日授與式を舉行

既報石城郡農會主催平町外九ヶ村聯合俵米品評會は去る七日より三日間半農會倉庫に開催され出品点数餘千餘点に達して豫想以上の盛會を見たが本日審査を行つた結果左記入賞者に對し午後一時より同所にて賞品の授與式を行つた

- △一等太田清太郎(夏井) 山崎貞次(飯野)△二等木和田傳(夏井) 山崎トミ(飯野)大田良知(平窪)鈴木秀明(神谷)△三等箱崎卓助(夏井)高橋金治(飯野)外十五名△四等鈴木秋光(飯野)外卅五名

春蒔蔬菜傳習

石城郡磐崎村農會では来る元

大町と十五丁目 南町から分離獨立

新年の區民會で決議

平町大町及び十五丁目の兩町内は從來南町區の行政下に有つたが最近人家激増せる處から兩町有志間には獨立區制を速進せしめるべく運動中の處去る七日一の井で兩町の新年宴會を兼ねた區民會を催し大町、十五丁目を聯合して五大町區と改稱南町區より獨立する案を決議し尙ほ星眼科醫院裏の道路改修工事の速進等に就いて近く代表者が役場に陳情すると

鍛冶町の役員 平町鍛冶町では昨八日午後二時より炭屋旅館で新年總會を開き區内役員左の如く決定した

- 第一組長吉田友一郎、第二組長加藤卯之吉、第三組長山野菊彌、第四組長大野倉七

家政塾を

大内氏創設

石城郡内郷村大字宮内郷村報發行者として信望篤い大内氏氏は昨年来より社會事業として大内家政塾を創立し地方青年男女の指導に當つて居ると

學校行事打合

磐城中等學校及び各小學校にては本日午前十一時より職員會を開き今學期の行事を打合せた

第一職員異動

平第一小學校訓導小林武志氏は今般喜多方中學校校務專科教諭に榮轉され明朝平發八時五十分にて赴任する又同校訓導山口重幸氏は家事上の都合に依り退職された

平町人事

- △出生 新川町五 鈴木友一氏長女璋子 結婚 磐城郡草野村字小端八三 鈴木元義氏(二四)平町南町二一 鈴木ハル(二二) △死亡 四丁目五松崎佐平(七四) △三丁目一五 高木福太郎(四三) △出町一 桑澤喜三郎(一)

質流れ 大廉賣

旭屋衣裳店 電話四二五番

暫く御預りを控へて御迷惑をお掛けして居りましたが整理も一段落告げましたから從前通り夜間九時までお預りを再開致しましたから御利用御引立を御願申します。 一六銀行係

貸切の●●●

御用命は!

獅子吼(四四九)ノ勢デ マツサキ 眞先ニ……………(マツサキ) 三九ニタクシーへ!!!



六三四通場車停目丁四町平

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

郡下出身凱旋軍人

十二日郷家へ

平驛頭盛大な歓迎

慰勞の祝宴を張る

本日午後二時十五分若松市に凱旋する歩兵二十九聯隊勇士のうち郡下出身五十餘名の満期兵は来る十二日に除隊となりいづれも久し振りで郷里へ歸る事となつたので平町では歓迎に就いて八日協議の結果町當局並に各種團體幹部が驛頭に盛大な出迎を爲し青沼町長の祝辭あつて祝宴を張りそれ／＼出身町村に歸還する豫定である

人馬の骨が

續々掘起さる

錦村の救濟工事で

石城郡錦村では目下救濟工事中の同村大倉地内堤塘土盛工事現場で去る四日地下三尺餘を掘つた處人骨約四十人分と馬骨十餘が現れたので村内で評判になつて居るが同箇所から一町程離れた處には磐城三十三番札所の觀世音なる萬福寺が明治初年迄あつたのが其後廢寺となつたので同寺時代の墓地跡らしく一先づ丁寧に同墓地に埋葬したと

書初めと

練習帳展覧會

平第一小學校にては明日より三日全校兒童の書初め及

近在の友人を尋ねての歸途メートルが上り過ぎて件の如しと判明翌日釋放された

薬の能書を

自轉車消え失す

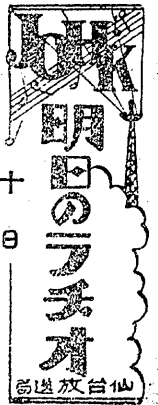
龜さんビツクリ

石城郡飯野村字下荒川農木村龜治(三)は八日午前十時頃二丁目地内で露天商人の薬の説明を聞いて居るうち傍に置いた自轉車と舊正月用に買った衣類三点とを何者にか窃取されたので驚いて平署に届出した

メートルが上り過ぎて

海軍さんが脱線

平町南町カフェー廣木方で去る七日午前二時頃泥酔した海軍服の兵隊さんが深夜の事として女給に飲酒を断られたのに憤慨して果ては器物等を手當り次第破し初めたので届出により平署員が檢束して取調すると同人は栃木縣生れ目下霞ヶ浦海軍航空隊二等主計兵稻葉清(三)で休暇を利用して平町



今晚も明日も北西の風で天気良し

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
兒童劇「凱旋した兄さん」
仙臺市上杉山通り小學校
兒童
後六、二五 國立公園特別
講座「富士」小島鳥水
後八、〇〇 「多門師團凱

旋歡迎の夕」 第三夜
(箏曲と三曲)遠藤米子外
(ラヂオスケッチ、凱旋小
景)ラヂオグループ
後八、五〇 新講談 伊藤
痴遊
後九、三〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告

明日の部

前九、一〇 料理献立「牡蠣のカレーライス」中會
根うめ子
前一〇、三〇 家庭講座
「刺題の盤景」小松紫山
後〇、〇五 俗曲「吹き寄せ」春風枝左松 三升家
喜之助
後二、〇〇 婦人講座「男性より女性へ」高島米峰
後六、〇〇 子供の時間
童話「ディックの猫」中根茂

後六、二五 國立公園特別
講座「日本アルプス」矢
澤米三郎
後七、三〇 講演 商工大
臣男爵中島久万吉
後八、〇〇 十日戒状況
今宮戒神社より中繼
後八、三〇 管絃樂「ラム
ンチヨ」への音楽：新交
響樂團練習所より中繼
後八、五〇 放送映畫劇
「琵琶歌」岡譲二 川崎
弘子外
後九、三一 滿洲より

市原醫院

平町 田町
電話一四四番

◎高價買入—金、銀、債券

◎安價販賣—時計と眼鏡

◎親切勉強—時計のお直し

星野時計店

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

大和田醫院

平南町 (電話一七〇番)

高級貸切

不二タクシー

電話 332

既報双葉郡木戸村大字前原字金剛川原九番地關本眞壽(三)は同村關本久八郎を毆打し去る八日平區裁判所に於て罰金二十圓の略式命令處分を受けたが本日不服とあり正式裁判の申立をした

平署の寒稽古

平署では本日より十日間柔剣道の寒稽古を行ふが一般からの出場も歡迎する由

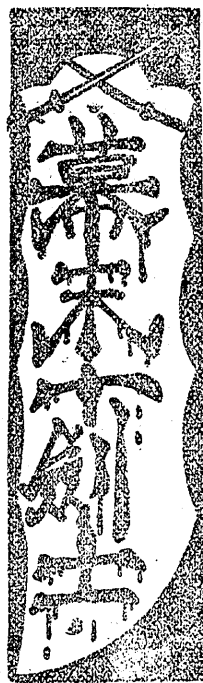
高月會

高月會例會は來月上旬二丁目萩野天仙庵に於て開れるが兼題は松の内、萬歳、初夢それに本年の勅題朝の海である

平裁判たより

双葉郡長塚村大字寺澤字南迫百六十番地同村收入役榊井留芳(四)に對する背任事件の公判は來る十四日午前九時より平區裁判所に於て竹内判事係り小林檢事立會の下に開廷すると

- △出前持 二十才 尋卒
- △給料面談(平町某)
- △女中 二十才 尋卒 給料面談(平町某某服店)
- △店員 二十才迄 高卒 給料面談(平窪村某)
- △雜役 二十五才迄 尋卒 月七八圓(江名町某)
- △回職を求める方
- △製糸場雜夫 二十二才 尋卒 給料面談(内郷村某)
- △菓子職 四十八才 高卒 給料面談(北海道某)
- △雜役 二十七才 高卒 給料面談(南會津郡某)



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百三十八席 平手造酒

七助途に實を明す
七「コレ何をするだ、オウ痛え」

と七助が捕へられた手を振拂ふを又押へ付けた目明しが忽ちに繩をかけた
七「俺は百姓だぞ、お百姓様は天下の寶だ、その寶物に繩をかけては勿體ねえぞ」

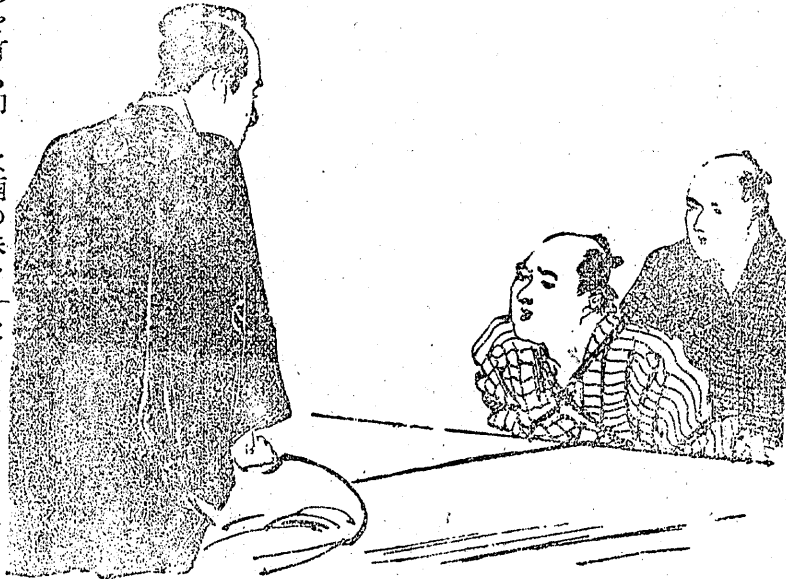
目「静かにしろ、年に三兩か五兩の給金を取る汝がこの茶屋に來て飲み食ひをするとは身分不相應、又三兩持つてゐるも身分に應じねえ金だ、これは何處から持つて來た」

七「俺は給金を蓄めたゞよして見れば怪しい、金ではえ」
目「イヤさうとは思ねえねえ、云はなければ云はせるやうにするぞ」

七「アレ痛い、駄目だ十手で打たれては堪らねえ、よせよそんなことするは、邪魔な奴だな、尤も旦那様がさう云つた親類ならばとて目明しには油断が出來ねえと」

目「何を云ふ、さア申し上げろ」
十手で打ちます、二兩持つてゐた爲めにこんと

になる、金は持つべきものでない、と云つて無ければ不自由、正面で酒を飲みながら吟味のさまを見てゐた陣屋の役人
役「コレ清太郎打つな、陣屋に送つてゆる／＼調べてみる、酒の座敷でこんな



目「貴様を陣屋へ連れて行く」
これを聞いて七助びつくりして
七「實は博奕で勝ちました」
役「何處の博奕へ行つた」
七「小見川でございまして」
役「小見川は何處だ賭場に行つたのは」
七「ハテ何處にしたもんかな、それは何でございませう小見川に行きました、こゝには賭場が立つてゐねえで今度は佐原に参りましたね」
役「佐原は誰の賭場に行つた」

ものを打ち叩くは酒の味を消す、泣き聲は三味線の音色とは違ふ」
目「ヘエそれではこいつを送ることにいたしませう、さア野郎一緒に行き」
七「何處へ行くんだ」

役「何處の賭場で儲けた、ヤイコレ近頃は八州役人が長脇差と見ると直に引つ立てる、それがためにこの下總から常陸にかけて賭場を立てるやうな親分株はゐねえぞ」

吸入用酸素素純度 99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

器量計

体温器
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

美味！
芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一〇七

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

父卯之吉儀病氣中の處藥石効なく去る二日午後九時死去仕候間此段御通知申上候也
追て葬儀は十一日午後二時自宅出棺性源寺に於て佛式を以つて執行仕候
昭和八年一月八日

總代 石崎幸一
友人 阿部政幸
親戚 古和政幸
高野得元
高野助健
高野健

磐城共濟病院案内
院長 醫學博士 石山謙二郎
副院長 醫學博士 石山謙二郎
内科 醫學博士 石山謙二郎
小兒科 醫學博士 石山謙二郎
外科 醫學博士 石山謙二郎
耳鼻喉科 醫學博士 石山謙二郎
喉科 醫學博士 石山謙二郎
皮膚科 醫學博士 石山謙二郎
産婦人科 醫學博士 石山謙二郎
X光線科 醫學博士 石山謙二郎
衛生試驗所 醫學博士 石山謙二郎
藥局 醫學博士 石山謙二郎

年始 年末
御贈答品
磐城名産
鯉節賣出
魚問屋
最優 大日 本生 命平 代理 店
志 賀 目 丁 四 平
榮 盛 一 二 電 番 三